

令和3年度第1回十和田市総合教育会議 会議録

日 時 令和3年8月27日 午後1時30分より
場 所 十和田市役所 本館3階 庁議室

出席者	十和田市長 小山田 久			
	十和田市教育委員会 教育長	丸井	英子	
	〃 委員	斗沢	一雄	
	〃 委員	大柳	均	
	〃 委員	深瀬	郁子	
	〃 委員	益川	毅	
	十和田市教育委員会事務局	教育部長	今 辰八	
	〃	教育総務課長	原田 克人	
	〃	指導課長	佐々木 隆一	
	〃	ｽｰｯ生涯学習課長	高淵 貴徳	
	〃	教育総務課長補佐	五十嵐 一美	
	〃	指導主事	須郷 英明	

教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、ご多用にもかかわらず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。 ・ただ今より、令和3年度第1回十和田市総合教育会議を開催いたします。 ・はじめに、市長からご挨拶をお願いいたします。
市長	あいさつ（略）
教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました ・続きまして、次第2の議事に入りますが、ここからの進行は市長にお願いしております。市長よろしくお願ひします。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、次第2の議事に移らせていただきます。「未来を応援、夢わくわくスクール！キャリア教育事業」について、事務局から説明をお願いします。
指導主事	説明（略）
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今、説明がありました。おそらく、どこの学校でも、このキャリア教育に取り組んでいると思います。当市の場合は、これまでの「日本一を目指した事業」を2期ほど実施しました。今日、それを、さらにバージョンアップして、この事業になったわけです。このキャリア教育に先生方も熱心に取り組んでいるわけです。子どもたちも楽しみながら授業する、これは本当に大事な事です。まず、授業の進め方について、ご質問等ありましたら、宜しくお願ひします。なければ、これから、特にこういうことに注意して進めて欲しい、子どもたちを育てて欲しい、こういう方法もあるのではないか、十分に皆さんの意見をお聞きしながら取り組んでいきたいと思ひます。効果のある事業になればいいということで、皆さんからご意見等をいただきたいと思ひます。斗沢先生、どうですか。

斗沢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の事業も素晴らしい事業だなと思ってましたが、是非、次の事業に繋げてほしいと、前回の会議で述べました。それが今実施している。非常にいいなと思いました。ややもすると、キャリア教育というのは、体験とか見学とか、そういうことをさせると良いものだ、児童・生徒が感じればそれで良いものだ、ということを先生方は思いがちですが、それが生徒の主体的な行動、活動に向けていって、すごいいいなと思いました。十和田市のこと、地元のことを理解していって、地元の将来、定住といったことにも繋がっていく、ということで、これからも是非、成果が上がるような活動をしてほしいなと思いました。 ・ひとつ要望で、キャリア教育の問題として、キャリアカウンセリングが挙げられるそうです。結局、先生方が一方的に見せたり、させたり、生徒一人一人が生きていくためのキャリアを形成できるような道を先生方が作ってあげればいいかなと思ってました。キャリアカウンセリングの効果的な活用も目指してほしいなと思いました。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。今までも、そういった取り組みをされていると思うのですが、説明して下さい。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセリング、大事な事ですが、子どもたちに進路のことで相談といっても、中々時間が取れない。中学校だと、個人面談やっているのですが、その中で将来をどのように考えているか、高校の先のこと、個人面談の中にキャリアカウンセリングの要素を入れるという取組をやっています。これからもキャリアカウンセリングを積極的に取り入れたいと思います。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・子供一人一人違うと思いますので、せっかく事業やっても子供たちが理解しないということもあると思います。そこは工夫していただきたいと思います。他に、大柳先生、いかがですか。
大柳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一事業を続けて、これを上手くキャリア教育に繋げたな、と思いました。事務局、職員の皆様に感謝しております。もし、これがなかったら、学校の閉鎖的な中で、黒板だけでずーとやってきたんじゃないかと、私も反省しています。授業だけで教えることは無理なので、地域の素材とか人材とか、そういう方々をどんどん活用して、もっともっと進めていただきたいなと思っております。予算も絡むので、教育委員会の皆さんには予算の確保をお願いしたいと思います。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の意見を聞くですとか、活躍している人いると思うんですが、そういった取組、洞内の方でやってるコミュニティスクール、あれに似たような、拡大したようなことをやって欲しいという声はありますか。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市のコミュニティスクールは、学校、評議員、地域の代表の方を学校の運営に入っていて、意見を伺いながら学校の運営を補助、説明したりとか、地域の情報を頂いたりとか、こういう制度をコミュニティスクールと言うんですが、年々拡充しております。今年度で市内23校中15校、来年度はいよいよすべての学校でコミュニティスクールがスタートします。地域の方々と一緒にやることで、応援とか情報を頂いた

	<ul style="list-style-type: none"> りとか、困ったことを相談できる、すごく助かっております。
スホ°生課長	<ul style="list-style-type: none"> 来年度、コミュニティスクールを支えていこうということで、地域学校協働本部というものを設置したいと考えております。学校と地域を繋ぐということの後押ししていきたいと思っています。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 協働本部は、教育委員会の中におきまして、人材紹介ないし、学校と地域を結ぶ役割を来年から立ち上げるということです。全国的な取組です。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 民間で活躍してる方に、子どもたちに話をしてもらえるだとか、そういうことになるのかな。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 今までは、校長先生とか担任が直接やっていたんですが、段々学校の負担が大きくなっていますので、そこに役所としてバックアップしていかなければならないということから立ち上げました。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 続いて、深瀬委員、何かありますか。
深瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちは、非常に楽しい3年間を過ごすことができた反面、親たちは意外と知らなくて、せっかくの子供の夢を潰しかねないということがあって、親も子供の夢とか希望を潰すことがないよう、サポートをしっかりしていかななくてはならないなと思いました。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局、コメントありますか。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> そういうこともあるんだなど。保護者の口コミで伝わっていることもあり、続けさせていただいているので、大きな力になっている。応援宜しくお願いします。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 益川委員、何かありますか。
益川委員	<ul style="list-style-type: none"> 昔は、こういうのがなくて、今は、体系的に教えてもらって、子どもたちに非常にいいことだなと思って拝見しておりました。十和田市は自然が溢れている環境にありますので、都会とは違うということを手く生かしながら授業に取り入れていることは良いことだなと思います。子どもたちの一番就きたい職業がユーチューバーだということで、何故ユーチューバーが一番かということも先生方に受け止めていただいて、そのうえで、このような形で取り組んでいただいた方が、こっちにも目が行きやすいと思います。先程の学校協働本部、今、いい方向で動いていると思うんですが、後から困ったというケースも聞いていますので、十分検討していると思いますが、気を付けていただきたい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちが将来なりたい自分に向かって今頑張るということで学校教育を進めておりますけども、実際、色んな体験をして、職業に就いたときに、社会人としての問題を小中でキャリア教育の一つとして意識して教えていただけたらなと思います。
斗沢委員	<ul style="list-style-type: none"> 大学で講義してまして、職業指導やってる中で、一番先に講義するのは、

7・5・3とって、3年やって離職率がどれくらいあるのか、ということ。中学生で就職すると7割辞めていきます。高校では5割、大学では3割辞めていきます。職場の問題が色々言われてきたけど、本人の自覚の問題もあると思います。そういう指導を受けてこなかったというのがすごく大きい。要するに、勤めてみたけど、こういう会社じゃなかったとか、1ヶ月で辞めてきた学生も結構ありました。短絡的に職業を選んでいる、ということもありますので、じっくり教えていかなきゃならないなど。今、大学生見ても、4年生になってから、自分が何したいか決めていない学生が非常に多いというのにビックリした。高校卒業する頃には、将来何したいから大学行くとか、そういうことがハッキリ見えていたんですが、そういう指導をしてきたつもりですが、大学生見ると、私は何に向くんだらうと情報を集めている、悩んでいる学生が多いように思う。偏見かもしれないが、小中の教育というのは、学習指導に偏ってしまうかなと思っている。ライフステージを見つめて、今何をやるかが大事で、高校に入るために今勉強していることと、ちょっと違う気がするので、本当のキャリア教育、進路指導でないキャリア教育、自分の在り方、生き方をどう過ごすか、ということを考えていくのは、小さい頃からじゃないとダメだなと思います。一番悪いのは親だと思いますが（笑）。その学校じゃダメとか、こっちにしなさいとか、まだまだ見られますので、将来の在り方を教えていかなければなと思います。

益川委員

- ・親の責任も大きいと思います。学校としても、今の世の中に合わせて取り組んでいるのはいいことだと思います。親が理解しないまま学校で進めてしまうと、やった甲斐がないなという気がしましたので。高校になってくると、自分の将来が胸に迫ってくると思うんですけども、ちゃんと植え付けていただいて、安定した職業がいいよとか、ありますけども、それだけじゃなくて、色々な価値観、選択肢を与えていただいた方がいいんじゃないのかなと思います。

市長

- ・残念なデータですけども、青森県のデータで、高校を卒業して就職した人の離職率が他県よりも約10%低い（高い？）というのを見たことがあります。キャリア教育は、自分の歩むべき道を考えるきっかけになると思います。

大柳委員

- ・子供が壁にぶち当たったとき、次があるさと乗り越えさせないでいる気がする。壁を乗り越えさせることを一丸となって叱咤激励しながらやっていくことが必要と思う。

市長

- ・個人でなくて集団で取り組む、ということもこれから必要だと思います。今年はどうやった、来年はどうするというのは書いていくんですか。それとも、3年間同じような形で繰り返すんですか。

指導課長

- ・基本的にはテーマは大きく変わらない。取り組み方は少し変わるとか、内容が少し変わるというのはあります。見直しながら、1つのテーマを深く追及するという形で進めていきます。

教育長

- ・加えて、子どもたちも学年が上がっていきますから、同じことを毎年やるということはありません。課題があれば来年度改善して、より良い活

	<p>動に繋げていくこととなります。</p>
深瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの考えは、狭い範囲で考えているので、全国的に活躍している人の話を聞いて広く考えるようにしてあげたいと思います。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 各委員の方それぞれから頂いた意見を参考にしながら、この事業は全く同じことを3回繰り返すのではなくて、初年度やって、2年目は更に見直しして、目的達成のために取り組むということですので、十分に意見を参考にしたいと思っています。 他に何かありますか。
大柳委員	<ul style="list-style-type: none"> 質問なんですけど、キャリア教育の各校の取組一覧、これはどこかに出ていますか。
指導主事	<ul style="list-style-type: none"> 今のこの段階では出ておりません。HP上で公開する予定になっておりましたので、後日公開する予定です。
大柳委員	<ul style="list-style-type: none"> 先程、知らない親たちもいる、というお話でしたので、チラシでも何でも配布してお知らせした方が良いのではないのかなと思いました。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 発表会というか、意見交換というか、そういうのはあるんですか。
指導主事	<ul style="list-style-type: none"> 各校の取組についての発表は、その学校の中でのみ、今のところ予定しておりまして、交流の予定はありません。ただ、学校だより等々、地域に配布している学校もありますので、中学校学区で他の小学校が何をやっているか共有されているところもございます。
指導課長	<ul style="list-style-type: none"> 追加です。市の広報でもピックアップして載せてます。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 良い取組は参考にしてレベルアップすればいいですし、そういう意味で他の学校の取組も何らかの形で紹介することも必要だと思います。 他に何か。 ないようですので、最後に丸井教育長、まとめをお願いします。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育というものに注視するようになったのは、かれこれ14~15年前くらいです。職場体験教育から中々脱却できないというのが続いてきました。今は、自己を成長させることも含めて、将来の夢を持つ、又はその夢を実現するために、今、何をしなければいけないか、ということ各学校に理念を理解されて具体的に取り組むようになったのは、日本一事業のおかげだと思っています。キャリア教育は分かっていたんですが、日本一事業とどう結びつけるのか悩みました。でも、模索する中で、子どもたちの様々なキャリアプランを含めて、自分の将来に向かっての設計をしていく、きちんと学べるようになって、そして今、キャリア教育事業に繋がってきていると嬉しく思いました。ただ、委員の皆様の意見を伺って、ここはまだ弱いかな、もう少しみんな考えて協力して取り組んでいかなければならないな、とか大変感じました。本当にありがとうございます。早速、担当中心に足りないところを補いながら、各校の校長先生と一緒にキャリア教育を進めてまいりたいと思います。

市長	<p>ありがとうございました。</p> <ul style="list-style-type: none">・このキャリア教育事業、去年の予算要求の段階で、日本一の次のステップに、どう取り組むかというわけで、こういう事業を組んでくれたわけです。名前が変わっただけで、日本一と同じ内容じゃないかと、当初、そう思ったんですが、しかしながら、それを少しバージョンアップして取り組んで、その熱い思いにほだされて、予算を付けたんですが（笑）、しかし、今、話を聞いて、子どもたちのためにやって良かったなど、そう感じています。また、次の教育会議でも、ご意見ありましたら、宜しくお願いします。 <p>本日はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
教育部長	<ul style="list-style-type: none">・ありがとうございました。以上をもちまして、令和3年度第1回総合教育会議を閉会いたします。本日は貴重なご意見をありがとうございました。